

学校だより



くいきふう

校訓 継続は力なり

鴻巣市立吹上中学校

学校だより「緑風」は、毎月本校HPに掲載しています。

本校HP <https://fukiage-j-konosu.edumap.jp/>

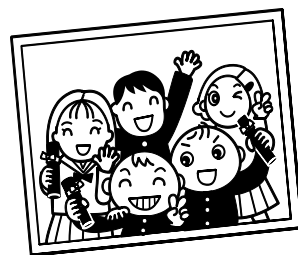
令和7年3月3日(月) 第11号

自らの力で未来を拓け！

校長 二瓶 亮

冬の空気と春の空気がせめぎ合う中、あちらこちらで梅の花が咲いて春の便りを届けてくれています。

令和6年度も残り1か月を切り、1，2年生は間もなく進級、そして3年生はいよいよ卒業を迎えます。来る3月14日(金)には、本校第78回卒業証書授与式が挙行され、90名の卒業生がここ吹上中学校を巣立っていきます。毎年この時期は、別れのさみしさと希望に満ちた旅立ちへの期待が入り交じる、ちょっぴり切なさを感じる季節です。



今年度も本校は学校教育目標「自らの力で未来を拓く生徒の育成」のもと、生徒が主役の教育活動が展開されるよう努めてきました。学校とは、学力を伸ばし、他者との協働が必要となる行事・体験活動などを通して「多様性を理解し、折り合いを付ける力」「正解のない課題に対して納得解を出す力」などの非認知能力を身に付ける場です。吹中生は今年度も吹中三大行事(体育祭、吹香祭、音楽祭)や宿泊体験、社会体験チャレンジ、部活動などを通して、心を磨き、仲間との絆を深め、確実に成長してきました。

私は校長として学校だよりや全校朝会での講話などで、折に触れて「非認知能力」の必要性や自分の考えをもとに「主体的に行動する」ことの大切さを述べてきました。学校では他者との関わりの中で学ぶ場面が多くあり、その機会を捉えて、生徒たちには人間的な成長も促してきました。非認知能力は点数など数値では表すことの出来ない能力です。どのくらい身に付いているのかは問題や課題に対してどう行動できたかによって確認することになります。私が見たり、聞いたりしている限り、多くの吹中生がこの非認知能力を確実に身に付け、実の場で発揮してくれています。体育祭、音楽祭では練習の場面から仲間と協働する姿がありました。修学旅行、スキー教室、校外学習では思いやりのある行動、自分たちで判断して臨機応変に危機を乗り越える行動など、生徒が主体的に動いて問題や課題を解決する姿、まさに非認知能力が発揮される瞬間が多々ありました。4日(火)にある三送会でも、1，2年生がこれまで培ってきた非認知能力を発揮して感動があふれる会にしてくれることを期待しています。

これからも3年生はそれぞれが選択した道で、1，2年生は新入生を迎え、開校79年目となる吹上中学校で、これまでの学びに誇りと自信を持って「自らの力で自らの未来を拓く力」の素地を身に付けていって欲しいと思います。今後も吹上中学校では、家庭、地域とも協力して生徒に変化の激しい社会を、たくましく生き抜く力を付けるために、教職員一丸となって教育活動を進めていきます。

末尾になりますが、保護者の皆様、地域の皆様、今年度も本校教育活動に多くの御支援を賜り、心より感謝申し上げます。笑顔と思いやりのあふれる生徒たちの活動は、保護者の皆様、そして地域の皆様の支え無くしては成り立ちません。引き続き、新年度も、本校への温かな御支援を賜りますようお願い申し上げます。